

科目ナンバリング		P-PUB01 8M001 LJ90				
授業科目名 <英訳>	アントレプレナーシップ Entrepreneurship		担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科	非常勤講師 寺西 豊 特定講師 山口 太郎 非常勤講師 高山 幸次郎 非常勤講師 吉川 友貞 非常勤講師 青山 裕紀	
配当学年	専門職	単位数	2	開講年度・開講期	2025・前期不定	
曜時限	月 6	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語	
【授業の概要・目的】						
【目的】 主に研究者の起業家精神を育成し、起業を志す際に不可欠な知識とスキルを提供することを目的とする。						
【対象】 本科目の主な対象者は、起業に関心を持ちつつも、どのような手順を踏めば良いのかが明確でない起業初心者である。既に具体的なビジネスアイデアを持ち、起業の準備段階にある、あるいは起業済みで、先輩起業家や投資家との壁打ちなどを希望する学生には、外部のアクセラレーターやピッチイベントをお薦めする。						
【概要】 本科目は、医療ヘルスケア領域に特化した起業に関するものである。この科目では、受講生に起業を身近に感じてもらうために、多数の起業家からの講演を聞いてもらう。これらの起業家は創薬、再生医療、医療機器など多種多様な医療ヘルスケアスタートアップに携わっている。本科目では、医療ヘルスケア領域での起業に必要な基本的な知識とツールを提供する。具体的には、デザイン思考、リーン・スタートアップ、財務諸表、知的財産（特許）、ファイナンス、薬事規制など、起業に必要な重要な要素を学ぶ。これらの講義やワークショップは、医療ヘルスケア領域の第一線で活躍する専門家が行い、実践的な知見を共有する。 また、講義・ワークショップと並行して、受講生はチームを組み、医療ヘルスケア領域のニーズを解決するビジネスモデルを作り上げる。このプロセスを通じて、医療ヘルスケア領域における臨床ニーズに基づいたビジネスモデルの構築を体験してもらう。チーム作業、中間発表では、受講生、教員と壁打ちを行う。最終日には、受講生が教員や外部投資家の前でビジネスモデルを発表し、実践的なフィードバックを受ける機会が設けられている。この科目を通じて、医療ヘルスケア分野での起業家精神を育み、実践的なスキルと知識を身に付けることができる。						
【到達目標】 起業に必要な基本的な知識の習得および臨床ニーズに基づく起業プロセスの理解を目指す。						
【授業計画と内容】						
第1回	4月14日	ガイダンス/ビジネスツール				
第2回	4月21日	デザイン思考（ミニワークショップ）				
第3回	4月28日	起業家講演（株式会社Splink 代表取締役 青山様）				
第4回	5月12日	アイデアソン				
第5回	5月19日	財務諸表の読み方（株）KPMG FAS 関清）				
第6回	5月26日	起業家講演（株）予防医療製作所 松下理恵）				
第7回	6月2日	シミュレーションゲーム（早稲田大学大学院経営管理研究科准教授 牧兼充）				
----- アントレプレナーシップ(2)へ続く -----						

アントレプレナーシップ(2)

- 第8回 6月9日 起業家講演(株式会社エスユーエス 取締役 吉川友貞)
第9回 6月16日 知的財産の基礎(医学研究科 早乙女周子)
第10回 6月23日 中間発表
第11回 6月30日 ベンチャー・ファイナンス(三菱UFJキャピタル株式会社 長谷川宏之)
第12回 7月7日 薬事規制(ティア・リサーチ・コンサルティング合同会社 内海潤)
第13回 7月14日 ベンチャー法務の基礎(TMI総合法律事務所 小川聡)
第14回 7月28日(6限) 最終発表
第15回 7月28日(7限)

* 外部講師の都合により日程変更等の可能性がある。

【履修要件】

知財必修・MPH選択

【成績評価の方法・観点】

以下を総合的に勘案して評価する
授業に対するコミット(出席、発言、感想)
シミュレーションゲームの順位
最終発表するビジネスモデルの内容
最終レポート(全体を通しての学び、企業分析)
成績評点の種別: 素点評価

【教科書】

特になし。講師が作成した資料で代用。その他、適時講義中に参考資料を提示。

【参考書等】

(参考書)
ステファノス・ゼニオス、ジョシュ・マコーワその他『バイオデザイン』(薬事日報社)
スティーブン・G・ブランク、ボブ・ドーフ『スタートアップ・マニュアル』(翔泳社)
Open Network Lab『Pitch』(インプレス)
エリック・リース『リーン・スタートアップ』(日経BP社)
アッシュ・マウリヤ『Running Lean 実践リーンスタートアップ』(オライリージャパン)
サラス・サラスバシー『エフェクチュエーション』(碩学舎)
根来達之他『ビジネスモデル』(SBクリエイティブ)
ダイアナ・キャンダー『スタートアップ』(新潮社)

【授業外学修(予習・復習)等】

ビジネスモデル作成にあたり、担当チームでの検討作業が必須となる。

アントレプレナーシップ(3)へ続く

アントレプレナーシップ(3)

(その他(オフィスアワー等))

このコースの受講生は、夏期集中講義「アントレプレナーシップ特論」(ビジネスゲーム)を受講できる。

このコースに続くプログラムとして、HiDEP(毎年7~9月)がある。

HiDEP : <https://ku-med-device.jp/hrd/hidep/>

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。